

こういき

2007
Vol.12



カシオくん
と
ペイアちゃん

仲良い兄妹が「こういき」をガイドします。

- 兄のカシオくん。正義感が強く、曲がったことが大嫌い。ちょっぴり照れ屋さん。
- 妹のペイアちゃん。歌と踊りが大好き。流行に敏感な女の子

Ninohe Kouiki

- | | | | |
|----|------------------------------|----|------------------|
| 02 | 二戸地区広域行政事務組合のあらまし | 13 | みんなでまもる地域の安全 |
| 04 | こういきお仕事ウォッチング | 14 | 地域の新しいゲンキ |
| 04 | 事務局総務係・介護保険推進室 | 15 | データ&グラフ |
| 06 | 二戸地区衛生センター | 16 | あんしんあんぜん暮らしのダイヤル |
| 08 | 二戸地区クリーンセンター | | |
| 10 | 二戸地区広域行政事務組合消防本部
二戸消防署・分署 | | |

使っているけどよく知らない「まじっく」って何?!



二戸地区広域行政事務組合のあらまし



組合のあゆみ

「二戸地区広域行政事務組合」は、二戸地区の4市町村（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）で構成されています。その母体は昭和39年に福岡町、金田一村、一戸町、浄法寺町、九戸村が発足した「二戸衛生処理組合」です。47年に福岡町と金田一村が合併してできた二戸市と軽米町とが加入し、翌48年に現在の「二戸地区広域行政事務組合」に名称を変更しました。

組合の発足当初はし尿処理のみでしたが、昭和49年に消防事務、平成7年にごみ処理事業、そして平成11年に介護保険事業が開始されました。

平成18年には二戸市と浄法寺町が合併してできた新二戸市が加入し、現在に至っています。

二戸圏域の振興

二戸広域市町村圏計画

このように地域社会のニーズ



事務局総務係 介護保険推進室



快適な生活環境を維持するごみ処理やし尿処理、暮らしの安心と安全を守る消防・防災や高齢者介護保険。事務局では、これら暮らしの基本といえる事業に関わる事務作業を一手に行っています。



二戸市下斗米字細越20-1
☎0195-23-7772

画の策定とその事業の実施に関する事務

- ③ごみ処理に関する事務事業
- ④し尿処理に関する事務事業
- ⑤消防に関する事務事業（消防団を除く）
- ⑥介護保険に関する事務事業

このうち事務局総務係で担当しているのは、これらの事業がスムーズに行われるために必要な事務作業です。

それぞれの事業に必要な予算の編成と決算、職員の給料の計算などの経理事務をはじめ、事業の内容が適正かどうかのチェックや、事業を審議する会議の開催、また、各市町村の首長や議会との連絡調整など、目には見えませんが、重要な仕事をしています。会社を例にとると、総務のような役割を担っているのです。

事務局総務係

暮らしの基本を支える「縁の下の力持ち」

まずは基礎知識から。「広域行政事務組合」とは、本来は各市町村がそれぞれに対応している行政事務を、共同で効率よく処理するため設置された特別地方公共団体のことです。二戸地区では、二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の1市2町1村によって組織されています。行政事務の内容は組合によって異なりますが、二戸地区広域行政事務組合ではおよそ次の仕事を行っています。

①二戸地区広域市町村圏計画の

ごみ処理や消防活動などはみなさんの暮らしに直接関わる大切な事業ですが、高齢化社会に一致団結して対応しようと平成11

介護保険推進室

介護予防を重視した新事業もスタート

年度からは介護保険事業への取り組みがスタートしました。この事業に取り組んでいるのが介護保険推進室で、介護認定審査会や



いきいき健康教室

全6回の「いきいき健康教室」は、毎回3つのプログラムで行われます。



まずは、専門家による講話タイム。県立大の都築助教授をはじめ岩手薬剤師会や二戸医師会、二戸歯科医師会、包括支援センターなどの専門家から、介護や医療、食事など、からだやこころに関するさまざまな話を聞き、健康づくりへの知識を深めてもらいます。そのあと健康体操を行い、最後は参加者全員が車座になって、地域の課題を話し合いながら交流を深める「地域活動検討会」で終わります。



楽しみながらの健康づくりはもちろんですが、生活の中で困っていることや悩んでいることを、地域の人々と話し合うことができるのは、からだ以上にこころを元気にしてくれるもの。それによって地域の交流も盛んになり、新しい活動も生まれています。「健康づくり」と「地域づくり」、どちらにも効く楽しい講座ですよ。

● 介護保険料を滞納すると…

特別な事情がないのに保険料を滞納した場合などは、滞納期間に応じて次のような措置がとられます。

1年間滞納した場合

介護サービスを利用したとき、利用者が費用の全額をいったん自己負担し、申請してあとから払い戻し(費用の9割)を受けられるかたちになります。

1年6ヵ月以上滞納した場合

利用者が費用の全額を負担し、申請しても、保険料を完納するまでの間、払い戻しが一時差し止められることとなります。なお滞納が続く場合は、差し止められた額から、保険料が差し引かれる場合もあります。

2年以上滞納した場合

介護保険料の未納期間に応じて、本来1割である利用者負担が3割に引き上げられます。また、高額介護サービス費が受けられなくなります。

● 65歳以上の方の介護保険料減免制度のお知らせ

65歳以上で、災害や失業、その他の事情により、保険料の納付が困難と認められた方は、介護保険料の減免が受けられます。減免を受けるには申請が必要です。詳しくは、各市町村の介護保険担当課または二戸広域までご相談ください。

対象となる方

- 1 保険料が第1段階・第2段階・第3段階の方のうち、収入が少なく生活が著しく困窮している方(「住民税の課せられている方に扶養されていない」「住民税の課せられている方と生計を共にしていない」など、いくつかの要件があり、平成18年度より要件のうちの預貯金等の資産について緩和しました。)
- 2 風水害、火災もしくは地震などにより、住宅または家財に3割以上の被害を受けた方のうち、あなたまたはあなたと同じ世帯のご家庭の、前年の合計所得金額が1,000万円未満である方
- 3 失業・冷害などにより、あなたまたはあなたの世帯の生計維持者の収入が前年の合計所得金額の2分の1以上減少した方で、前年の合計所得金額が600万円未満である方

申請窓口

二戸市総合福祉センター	☎0195-23-1313	軽米町役場健康福祉課	☎0195-46-2111
二戸市浄法寺総合支所	☎0195-38-2211	軽米町健康ふれあいセンター	☎0195-46-4111
一戸町総合保健福祉センター	☎0195-32-3700	九戸村役場住民生活課(保健センター)	☎0195-42-2111

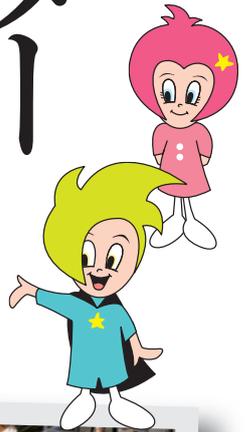
介護保険料の賦課徴収・保険給付などの事務を行っています。介護保険の現状は、高齢化社会を反映して給付費の伸びが大きくなってきていることから、高齢者の健康管理や介護予防への取り組みも求められております。こうした中で当組合では、平成18年度から岩手県立大学と相互連携協定を結び、介護予防のための事業である「地域保健福祉活動推進事業」をスタートさせました。この中で岩手県立大学の都築先生から指導、助言をいただき「いきいき健康教室」や「転倒予防教室」など数年にわたる継続した教室を開催してまいります。

この教室は、体操はもちろんですが、専門家の講話や参加者の交流を図る時間が設けられているのが特徴です。健康づくりを通して住民同士の交流のきっかけを作り、教室が終了した後も地域活動が広がっていくことを願っているからです。18年度の対象地区(二戸市の金田一地区・浄法寺地区・福岡地区、一戸町の関屋地区、軽米町の下新町地区、九戸村の江刺家地区の6カ所)では、金田一地区の「まるごと健康S・S教室」のような自主活動グループが次々誕生しています。また「転倒予防教室」をきっかけに、地域の医療機関、理学・作業療法士による「カシオペア転倒予防研究会」も発足しました。予防事業や保健福祉をベースにしたこのようなまちづくりは非常に珍しく、介護保険推進室では県立大や関係機関との連携をとりながら、住民の意識調査はじめ地域での事業継続をサポートする体制の確立を探っています。19年度の教室は、あなたの住む地区で行われるかもしれません。参加してみませんか。



こういきお仕事
ウォッチング

二戸地区 衛生センター



快適な暮らしを保つために欠かせないのが、し尿や汚泥などの処理。これらが適切に行われることは、自然環境の保全にもつながっていきます。その仕組みについて、じっくりご紹介します。

私 たちの暮らしの衛生と 快適な暮らしを保つ

奥羽山系の山ふところに抱かれた二戸地区は、馬淵川に代表される清流の流れる豊かな自然環境を有しています。この自然を守りながら、快適な生活環境も維持していく役割を担うのが「二戸地区衛生センター」。家庭や事業所から出るし尿や、浄化槽の汚泥を処理しています。平成9年に完成した施設は、地下1階・地上2階の規模で、建物の面積は約1400平方メートルと、一般的な衛生センターと比べるとコンパクト。しかし、処理能力は1日平均にして約112キロリットルと、1市2町1村のし尿・汚泥処理にも十分に対応できる規模です。



ポンプ室

二戸市下斗米字細越20-1
☎0195-23-2651



脱臭装置

この処理能力を可能にしているのが、高負荷脱窒素処理方式に砂ろ過、活性炭吸着塔などの最新の設備群です。

施設の心臓部ともいえるべき部分は「反応槽」。高さ約180センチ・直径約1メートルの円筒型をしたロータリアトマイザ（高性能曝気装置）により攪拌し

ながら空気が供給され、バクテリアが繁殖しています。この空気とバクテリアの力で、し尿や汚泥を分解・浄化して処理水に変えています。これにより、以前より期間が短縮され、約2週間ほどで処理されます。

では、し尿・汚泥処理の仕組みを詳しく紹介しましょう。

- ① 収集されたし尿や汚泥は受入槽に入ります。細目スクリーン装置によりビニールや紙、布などを取り除いたのち、貯留槽へ送られます。
- ② 貯留槽から反応槽へ送られ、バクテリア処理が行われます。
- ③ 汚泥分離槽で処理水と汚泥に分離。集められた汚泥は脱水機へ送られます。
- ④ 砂ろ過と活性炭吸着塔を通し、無色透明な処理水にします。
- ⑤ 接触槽で塩素殺菌消毒をします。完全な処理水となって川へ放流されます。
- ⑥ 発生する臭気はすべて捕集し、薬品処理により無臭化しています。

一連の工程は中央監視室で管理・調整が行われますが、し尿の中にはビニールや紙以外にも金属製品や布製品など、予測外のごみが含まれている可能性があるため、そのつど人の目で確認し、機械を調節しています。



環境対策

処理施設から出る放流水には、法律により厳しい水質基準が設けられています。

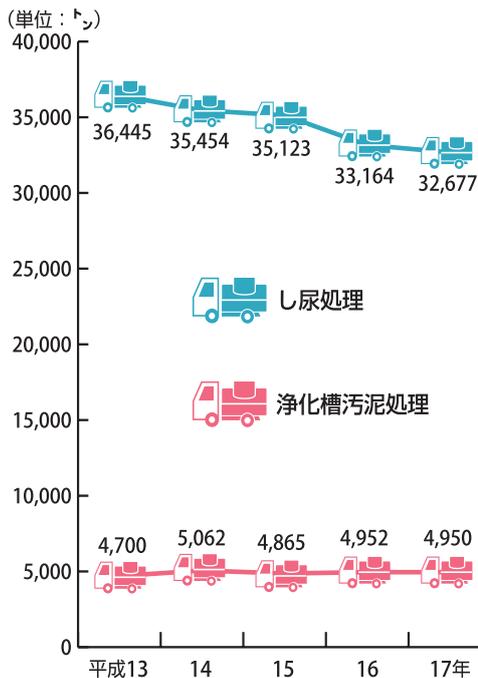


二戸地区衛生センターでは常に場内で水質を測定しながら、機械の微調整を行うシステムを確立しています。砂ろ過と活性炭吸着塔による浄化はもちろんですが、反応槽や汚泥分離槽など各所での処理工程を正確に行わなければ、最終的に出る処理水の水質を向上させることにはつながりません。そこで、各所での検査を行い、次の工程へスムーズに、そしてストレスを与えないように処理液を送るようにしています。この場内での水質チェックに加え、毎月1回は外部の専門検査機関に依頼して、水質をチェックしています。

これらの体制により、本センターでの水質は法律による基準値をすべてクリアして、環境を汚さない安定した処理水を放流しています。



処理量の推移

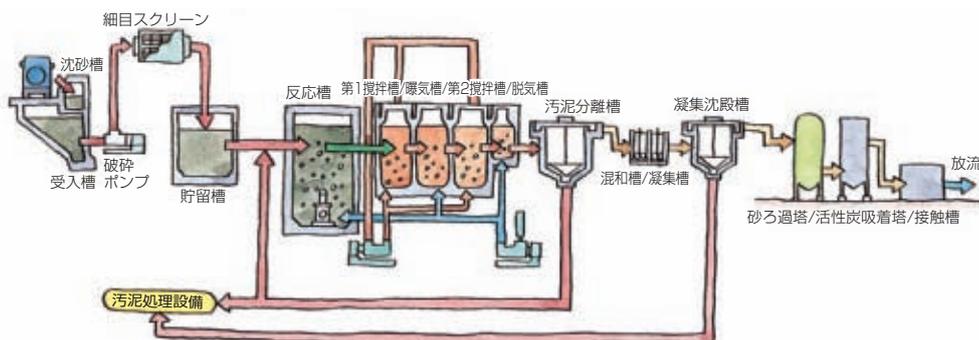


反応槽



し尿の受入れ

し尿処理の流れ



受入貯留設備

し尿は受入槽から細目スクリーンを通り、貯留槽に蓄えられ、細目スクリーンでビニールや紙などの夾雑物が取り除かれます。

高負荷脱窒素処理設備

し尿は貯留槽から反応槽に投入され、硝化と脱窒素が同時に進行し、窒素成分を除去します。そこで除去しきれなかったものは、第1攪拌槽から脱気槽で除去され、汚泥分離槽で汚泥と処理水に分離されます。

汚泥は焼却処理され、処理水は凝集沈殿槽によりCOD、リン、微細な浮遊物質などが除去されます。

高度処理・消毒設備

ここでは、わずかに残ったCOD、浮遊物質、色度などをとり、無色透明な処理水にします。

また、バクテリアの活動を保つため、反応槽内の温度や酸素供給量もきめ細かく管理する必要があります。施設は24時間・365日停止することはありません。

二戸地区では公共下水道の普及により、し尿の処理量は減少傾向にあります。一方の汚泥処理は合併浄化槽の普及により、増えていく可能性があります。これからも、より快適で清潔な生活環境を守るため、衛生センターでは施設の適正な管理と運営に努めていきます。



施設の稼働状況が一目で分かる中央計器盤



中央制御室

二戸地区 クリーンセンター



今や、ごみ問題は社会全体で取り組まなければならない大きな課題といえます。二戸地区クリーンセンターでは、回収されたごみの適正な処理に努めながら、リサイクル運動にも力を入れています。



二戸市石切所字二枚平19-1
☎0195-25-5660

完 全無公害化を実現する設備と スタッフによる厳しい目

美しい自然環境と快適な暮らしを守るため、暮らしの中から出るごみは適切に処理して行かなくてはなりません。二戸地区では平成7年に完成した「二戸地区クリーンセンター」で、4市町村の家庭や事業所から出た

ごみを処理しています。

一戸町との境界付近、二戸市の山あいには建つ施設の広さは約8千平方メートル。ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設で構成され、焼却施設では1日の処理量が約60トン（16時間稼働）、一方の粗大ゴミ処理施設では30トン（5時間稼働）の処理が可能になっています。

当クリーンセンターの特徴は、完全燃焼の度合いがより高いとされる「流動床式焼却炉」を導入している点です。これは炉の下部におよそ9トンもの砂（珪砂）を入れ、加熱した高圧の空気、その砂を600℃弱の高温に保ちながら（このとき

炉内温度は850℃以上の燃焼温度になります）、激しく攪拌します。すると、砂はあたかもお湯が沸騰したような状態（これを流動床状態といいます）になるのです。投入されたごみは、流動状態の砂に接触、攪拌され、一瞬にして焼却が行われることとなります。

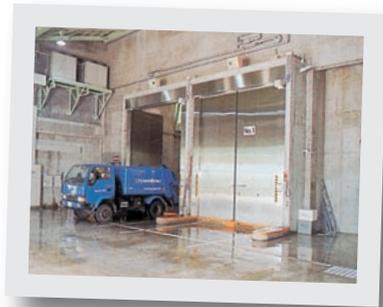
ごみは、パッカー車（ごみ収集車）ごと計量機で重さを量ったのち、いったん巨大なごみピットに貯められます。そしてクレーンによってごみ投入ホッパに供給され、給じん装置で焼却炉内に送り込まれ、完全に焼却されます。

ごみが完全燃焼したあとの細



ごみピット、ごみクレーン

かな灰はガスとともに排出され、ろ過式集じん器により取り除かれたのち、セメントで固めています。また高温の排ガスは、ガス冷却室と空気予熱器で温度を下げたのち、有害ガス除去装



プラットフォーム



ごみ減量

発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再利用・再資源化（リサイクル）の「3R運動」は日々のちょっとした気配りから行えます。



スーパーやコンビニでのレジ袋を断るマイバッグ運動も有効な方法です。

燃えるごみとして収集される紙ごみも、「雑誌」「ダンボール」「新聞」「牛乳パック」に分類すれば、立派な資源ごみになります。捨てる前にチェックしてみましょう。

●雑誌に分類されるもの

週刊誌、月刊誌、はがき、便せん、ノート類、パンフレット、カレンダー（金具は除く）、本（ビニールカバーは除く）、封筒など

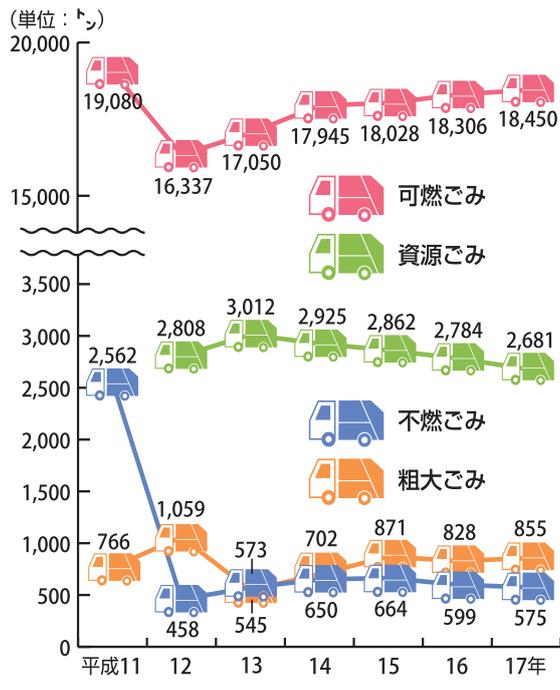
●ダンボールに分類されるもの

各種ダンボール箱、菓子箱、贈答用箱、ティッシュペーパーの箱（ビニールは除く）など

※ダイレクトメールなどに多い透明フィルム付き封筒も、フィルムを取り除けば、資源ごみになりますよ（フィルム部分は燃えるごみになります）。



処理量の推移

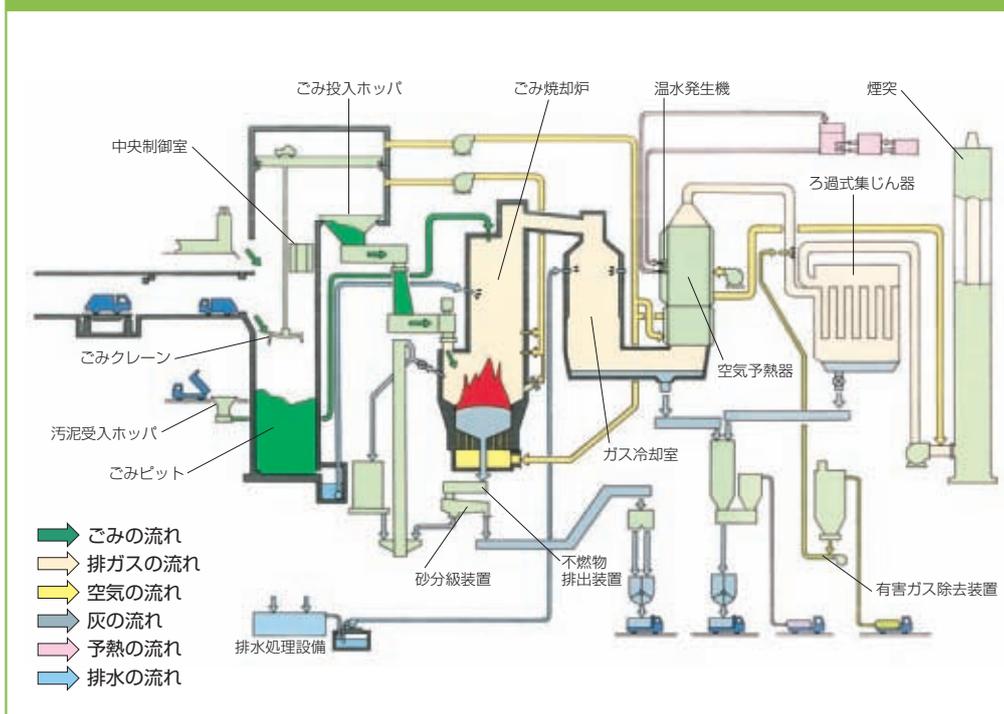


※平成12年度から資源ごみの分別収集を始めました。



焼却炉

ごみ処理の流れ



置とろ過式集じん器で有害成分と微細なばいじんを完全に除去し、煙突から放出しています。一連の工程は、すべての機器の運転状況を示す計器類が集められた中央制御室で集中監視しています。ごみの状態はどうか、炉内の燃焼温度はきちんと上昇しているか。スタッフによる厳しい管理のもと、工場内でごみを完全無公害化するシステムが整っています。

リサイクル運動などにより、二戸地区でも資源ごみの分別回収が定着しつつあります。一方、可燃ごみの収集量は年々増加してきています。二戸地区クリーンセンターでは、リデュース・リユース・リサイクルの「3R運動」の浸透を目指した意識啓発活動をはじめ、センターの見学なども受け入れています。ごみ減量は社会全体の大きなテーマです。みんなで美しく住みよい地域づくりに取り組みましょう。

二戸地区広域行政事務組合 消防本部・二戸消防署・分署

尊い人命と財産を守り、愛するふるさとのために活動を展開する消防署。二戸地区広域行政事務組合消防本部（以下、消防本部）では二戸消防署と4つの分署が連携し、昼夜を問わず災害へ対応できる体制が整っています。



二戸消防署と四分署の連携で 火災、災害から地域を守る

防本部からの出動命令により組織が一丸となり対応に当たっています。

二戸地区の消防・救急業務は、二戸市に消防本部・消防署が置かれ、一戸町、軽米町、二戸市浄法寺町、九戸村の4地区に分署が配置されています。

さまざまな消防・救急への要請に応えるため、署・分署には水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急自動車、連絡車を配置し、さらに、特殊な災害に備えて化学消防ポンプ自動車や屈折はしご消防自動車、交通事故などの救助に使用される救助工作車なども配置しています。

消防本部と分署は、電話と無線により常時連絡を取り合い、大きな災害が起きた場合は、消



また、警察や高速自動車道の関係機関とも専用回線で結ばれており、事故や災害発生時には素早い対応により地域の安全を守っています。

管内の消防職員は総勢110名で、24時間態勢で勤務に当たっています。救急隊員の中で、医師の具体的な指示のもと高度な救命処置を行うことができる救急救命士は17名。そのうち心肺停止状態の患者の気管にチューブを通し、肺に直接酸素を送り込む医療行為「気管挿管」を行うことのできる挿管認定救命士は6名います。

また、「緊急消防援助隊」が全国に組織されており、地震などの大規模な災害発生時には、全国から応援が受けられるよう整備が図られています。





消防本部管内 消防署・分署

●所在地 ●連絡先

二戸消防署



二戸市福岡字長嶺28-1
☎0195-23-7119

浄法寺分署



二戸市浄法寺町下前田41-7
☎0195-38-4119

一戸分署



二戸郡一戸町西法寺字関屋157-1
☎0195-33-3119

軽米分署



九戸郡軽米町大字軽米3-78-11
☎0195-46-4119

九戸分署



九戸郡九戸村大字伊保内10-11-6
☎0195-42-3119



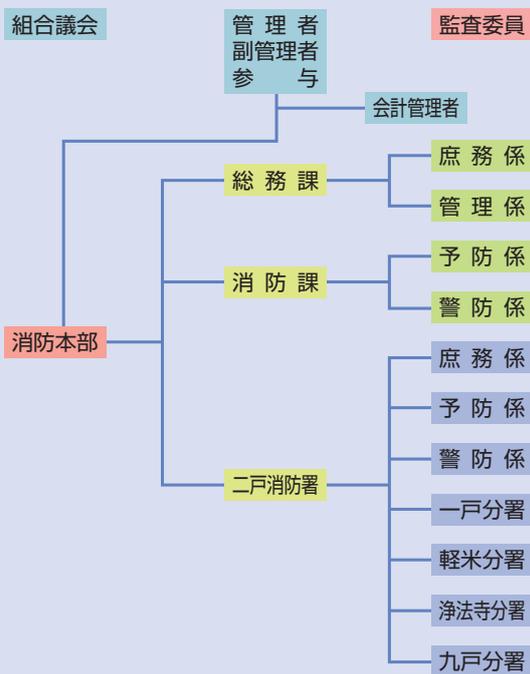
平成18年の消防・救急出動件数

多くの災害は日常生活の中のちょっとした油断から起きています。火の始末などもう一度、身の回りの点検をお願いします。

		二戸	一戸	軽米	浄法寺	九戸	合計
火災	18年	12	11	5	1	3	32
	17年	8	9	7	2	5	31
救急	18年	907	538	352	341	277	2,415
	17年	971	584	384	242	287	2,468
救助	18年	54	24	6	4	9	97
	17年	38	20	5	7	6	76
合計	18年	973	573	363	346	289	2,544
	17年	1,017	613	396	251	298	2,575

※黄色帯は18年、青色帯は17年出動件数

消防本部の組織図



日ごろの訓練の成果を出し切り 全国消防救助技術大会で五位入賞

平成18年8月24日、北海道札幌市消防学校において、第35回全国消防救助技術大会が開催され、当消防本部からは「引揚救助」の部に出場しました。

引揚救助には、全国の地区支部大会を勝ち抜いた22隊、110名が参加して競技を実施しました。当消防本部ではこれまでも東北・全国大会へ毎年出

場してきましたが、今回は第五位という上位での入賞を果たすことができました。

「引揚救助」とは、1隊5名の隊員により、マンホールや地下室などでの低酸素、有毒ガスによる事故を想定し、「空気呼吸器」という呼吸保護具を着装して低所に侵入し、倒れている負傷者を地上に引き揚げて救出すると



7つのポイント

一瞬にして全てを失ってしまう住宅火災。普段から以下の3つの習慣、4つの対策に注意して、大切な家と家族を守りましょう。

3つの習慣



●寝たばこは、絶対やめる。



●ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使う。



●ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**等を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、**防災製品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。



いう競技です。救助技術大会では速さのみではなく、安全性と確実性も併せて競われます。消防本部では、普段から各隊員が自主的な体力錬成に取り組んでいます。今回は日々の積み重ねの成果ともいえるものです。

消防・救急事業でもうひとつ大切なものが「防災」です。火災の多くは、日ごろの注意から防げるもの。二戸消防署では火災予防週間に合わせて管内の家庭を訪問し、火災予防指導のほか、地域での消火訓練や防災懇談会での指導も行っています。また、各地域の「防火クラブ」の活動も支援。地域住民の強い

防 災への意識を高めるため さまざまな活動も展開

が、これに満足することなく、隊員は救助技術の向上を目指しています。その原動力は「住民の皆さんの安全を支えて行きたい」との強い思いです。

つながりが防災活動にも役立っています。

病気やケガなど不慮の場面では、救急車が到着するまでに施す応急処置の仕方では傷病者の救命率が大きく変わってきます。二戸消防署では、そんな場面に遭遇しても慌てず対処できる各種の救命講習会も行っています。



一般住宅等に**火災警報器**の設置が義務付けられました。

新築住宅は、平成18年6月1日から設置することとなり、施行されて10カ月が過ぎました。既存住宅には、二戸地区広域行政事務組合火災予防条例により、平成23年5月31日までに設置することとなります。

消防署では、販売や取扱店の紹介を行っていません。

不明な点は二戸消防署予防係 ☎0195-23-7119までお問い合わせください。

みんなでまもる地域の安全

災害による被害を防止・軽減するためには、地域における連携と防災力の向上が必要とされています。ここでは、各地域で行われている防火・防災のための取り組みを紹介します。



九戸村幼年消防クラブ 九戸村主催の消防演習(平成18年4月)

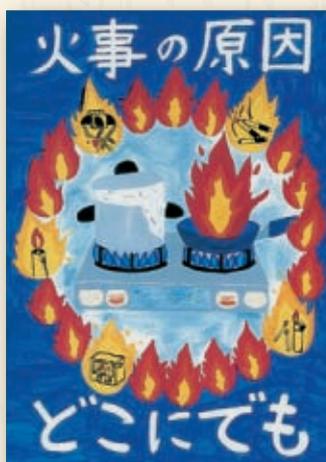


一戸少年消防クラブ
一戸町主催の消防演習(平成18年5月)



小玉川小学校少年消防クラブ 軽米町主催の消防演習(平成18年9月)

幼年期に火の大切さや恐ろしさを教えることにより、幼児の火遊びによる火災を減らすことが可能です。また、少年少女期に防災について関心を持ち、防災知識を習得することにより、防災マナーを身に付けることができます。各市町村では「幼年消防クラブ」「少年消防クラブ」への参加を呼びかけ、消防演習への参加等、活動を通じて防火の心を育てています。



第30回火災予防運動
ポスターコンクール特選作品
二戸市立中央小学校6年
佐藤ゆかりさん

主婦は火気を扱う機会が多く、火事の第一発見者や初動対応者になることが多いことから、家庭防火の知識や技術を習得することはとても大切です。各地域の消防団など関係組織と密接な連携を図ることによって、地域の災害対応能力をいっそう高めることができます。



九戸村婦人消防協力隊
九戸村主催の消防演習
(平成18年4月)





地域の 新しい ゲンキ

ふるさと市町村圏基金事業

二戸地区の特性を活かした魅力ある個性的な地域づくりを行うため、ふるさと市町村圏基金が平成2年度に設置され、基金の運用益を活用して地域振興事業・人材育成事業などの多様な広域的ソフト事業を中心に実施してきました。

特に地域のイメージアップと地域文化・スポーツの創造を目指して推進してきたカシオペア関連事業は着実な成果を見せてきています。

平成18年度基金活用事業は次のとおりです。

人材育成事業

カシオペア氷上フェスティバル等開催事業

カシオペア連邦の冬季氷上スポーツの振興と技術の向上を図るとともに、氷上スポーツを地域の特色あるスポーツとして定着させることを目的に行われています。

最近注目されてきているカーリングを中心に、スピードスケートやアイスホッケーなどの競技大会を開催しています。



文化振興事業

カシオペア連邦合唱祭

平成3年から開催されている「カシオペア連邦合唱祭」。連邦内の合唱団の親睦と音楽（歌唱）技術の向上を目指して始められた合唱祭も、14回を数えました。加盟団体以外にも参加希望する児童合唱団や聴衆も増えており、音楽芸術文化が着実に定着し、演奏の技術も回を重ねるたびに向上してきています。



地域振興事業

カシオペア穀彩PR事業

カシオペア連邦の観光は「天台寺」や「九戸城」など歴史的文化遺跡の活用や、「フォレストパーク」「子どもの森」など恵まれた自然の中での体験型観光など多種多様です。

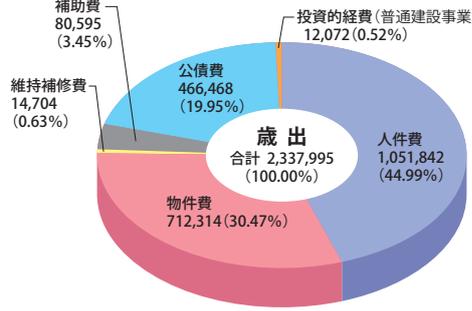
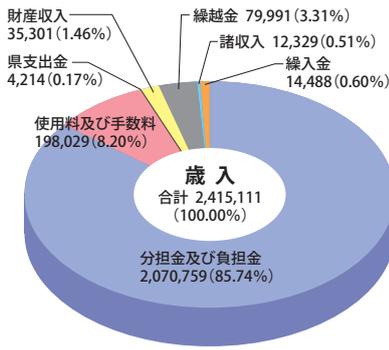
また物産については、地域の特性を活かした穀彩（雑穀）商品や、安全で新鮮な「山里」の食材及び加工品が豊富にあります。

これら観光資源や物産を活用し、県外客を対象に日帰りバスツアーや観光イベントを実施し、誘客を図りました。これにより観光スポットとして年々認知度も高まっており、広域観光ルートとしても徐々に定着してきています。また物産も都市の人々に高評価を得ています。



●17年度決算 (単位：千円)

一般会計

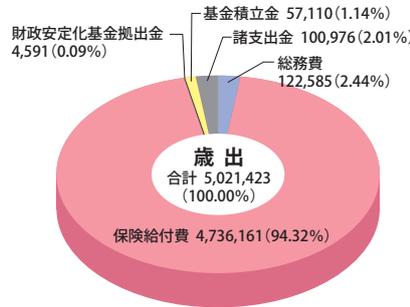
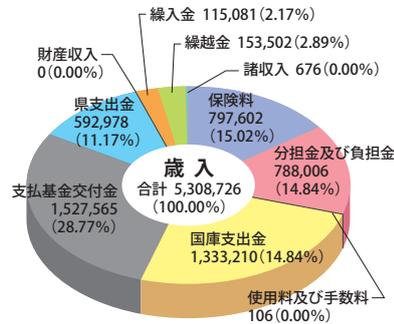


市町村別負担金

旧二戸市	551,434
旧浄法寺町	180,308
新二戸市	243,462
二戸市計	975,204
一戸町	466,587
軽米町	363,276
九戸村	265,692
合計	2,070,759

■平成17年度に実施された主な事業——財務会計システム構築事業……………12,072

介護保険特別会計

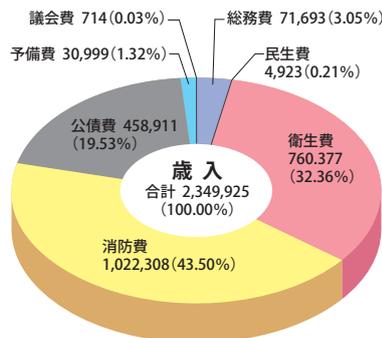
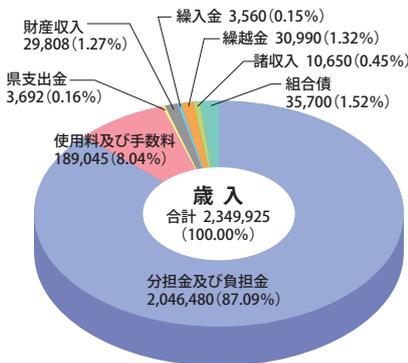


ふるさと市町村圏基金特別会計

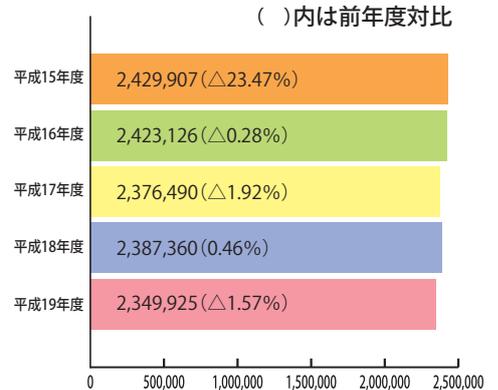
平成17年度決算	内 訳
歳入 10,150	1.財産収入 4,031 (39.71%) 2.繰越金 6,119 (60.29%)
歳出 10,150	1.ふるさと市町村圏自治振興費 人材育成活用事業・文化振興事業・ 地域振興事業などの実施 10,150 (100%)
差引 0	

●19年度予算 (単位：千円)

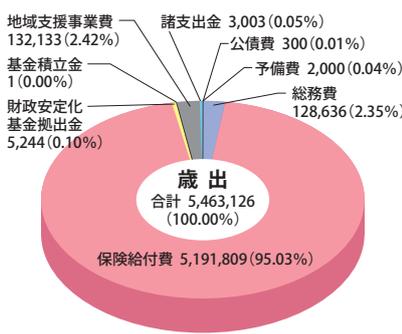
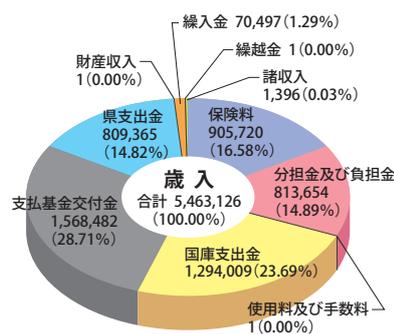
一般会計



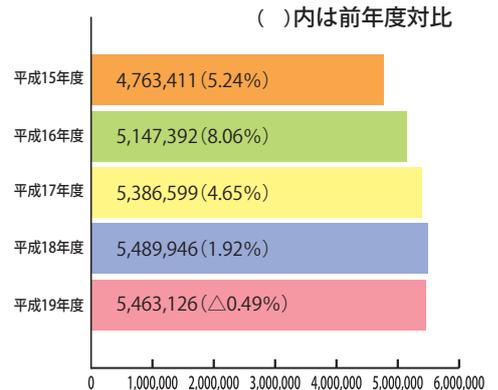
一般会計当初予算の推移



介護保険特別会計

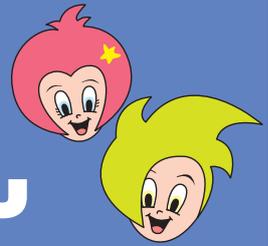


介護保険特別会計の推移





あんしん あんぜん 暮らしのダイヤル



緊急時の119番通報のしかた

通報はあわてずゆっくりと、事故の状況や来て欲しい場所を伝えてください。聞き取りは1分程度で終わります。「そんなことは良いから早く来て」欲しい気持ちはわかりますが、正確な情報伝達は、結果的には短時間で現場到着に結びつきます。特に救急車の場合は、患者の病歴や生年月日の聴取を医療機関から要請されていますので、ご協力をお願いいたします。現場付近に、消防車や救急車が近づいたら手を振るなどして合図してください。

■通報の例です

●火事の場合

「火事です。火事です。」
「場所は〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇(氏名)です。」
「〇階建ての一般住宅の〇階の
〇〇の部分燃えています。」
「場所の目標は〇〇(学校名等)
の〇側(東西南北)です。」

●救急の場合

「救急です。交通事故(病気)です。」
「場所は〇〇町〇丁目〇番〇号〇〇商店前の交差点です。」
「〇〇歳くらいの男(女)性が乗用車にはねられて〇〇部分
から出血しています。」
「場所の目標は〇〇(学校名等)の〇側(東西南北)です。」
※急病の時などは症状や、かかりつけの病院、患者の
生年月日なども教えてください。

家族みんなで覚えておこう! 「災害伝言ダイヤル171」

「災害伝言ダイヤル」は、地震などの災害が発生し、被災地への安否確認などの電話が殺到して電話がかかりにくい状態になった場合でも、被災地の人々の自宅の電話番号にかけることで、伝言の録音および再生ができ、連絡を可能にするボイスメールサービスです。家族や親しい人同士で「171」を申し合わせておくと安心です。

利用方法

●伝言を録音する方法

「171」にダイヤルする。→ ガイダンスにしたがって **1** を入力する。→ ガイダンスにしたがって連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番から入力する。→ 伝言を録音する。

●伝言を聞く方法

「171」にダイヤルする。→ ガイダンスにしたがって **2** を入力する。→ ガイダンスにしたがって連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番から入力する。→ 伝言が再生されます。

星が輝く きれいな空 かなたの空



二戸地区広域行政事務組合

〒028-6102 岩手県二戸市下斗米字細越20-1
TEL0195・23・7772 FAX0195・23・7984
URL <http://www.cassiopeia.or.jp>